



2050年カーボンマイナスを実現します



九電グループ社員が自ら取り組む省エネ・電化を宣言する「ゼロカーボンチャレンジ宣言」

地域とともに取り組む

九電グループは、地球温暖化防止に向け地域のカーボンニュートラル推進等のニーズに対して支援を行い、ゼロカーボン社会を共創していきます。

また、地域の皆さまや未来を担う子どもたちとともに、環境について考えるきっかけとなる活動に取り組めます。

Topics 「サーキュラーパーク九州」構想実現を目指した取組み

九州電力は、旧川内発電所跡地（鹿児島県）を資源循環の拠点「サーキュラーパーク九州」として位置づけ、2024年度からの事業開始に向け準備を進めています。

サーキュラーパーク九州では、九電グループを含む企業・地域の廃棄物の再資源化をすすめるとともに、企業や大学等のもつ資源循環に関する技術と知見の活用、薩摩川内市の協力による実証実験等により、資源循環に係る課題解決に向けた社会実装に取り組む、九州域内の資源循環・脱炭素に貢献することを目指しています。



「サーキュラーパーク九州」将来イメージ

Q CO₂排出量を削減するために、地域ではどんなことに取り組んでいるの？

ゼロカーボン社会に向けて、多くの自治体が2050年CO₂実質排出量ゼロに取り組むことを表明するなか^(※1)、九電グループも、トータルソリューションの提供により、自治体等のカーボンニュートラル推進を支援しています。

九州電力大分支店では、立命館アジア太平洋大学（APU）と2021年に「カーボンニュートラル社会の共創に資する包括連携協定」を締結しました。カーボンニュートラルをテーマに、九電グループ社員による学生向け講座を行ったり、APUの木造教学棟建設に九州林産(株)のFSC認証^(※2)木材を活用いただいたりするなど、カーボンニュートラルに向けて産学連携で取り組んでいます。

(※1) 参考：環境省「地方公共団体における2050年二酸化炭素排出実質ゼロ表明の状況」
<https://www.env.go.jp/policy/zerocarbon.html> (2023年3月31日)

(※2) 適切な森林管理を認証する国際的な制度



九州電力
大分支店 企画・総務部
広報・地域共生グループ
すえつぐ れいか
末次 玲佳

森林管理ソリューションの提供を通じたカーボンニュートラルの推進

九電グループでは、J-クレジット^(※)創出支援や、ドローン等によるスマート林業技術の導入促進等の森林管理ソリューションの提供を通じて、九州のカーボンニュートラル推進や林業等の地域産業の活性化に取り組んでいます。

2023年5月には大分県日田市と包括連携協定を締結し、地元大手林業事業者とも連携して、取組みを更に充実させていきます。

大分県日田市との締結式(2023年5月)
 (※) 森林によるCO₂吸収量や再エネ利用・省エネ導入によるCO₂削減量を国がクレジットとして認証し取引する制度
 (右) 大分県日田市 原田市長
 (左) 九州電力 中村大分支店長

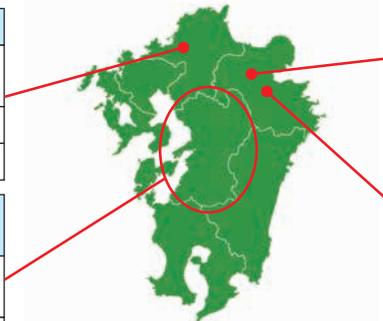


森林資源を活用したJ-クレジット創出

自治体等が所有する森林からのJ-クレジット創出支援事業を行っており、九州電力の社有林からもJ-クレジットを創出しています。創出したJ-クレジットは、九電グループの地域・社会共生活動や、地場企業の生産活動等のカーボンオフセット^(※)に活用予定です。

(※) 削減が困難なCO₂排出量について、他の場所で実現したCO₂排出削減、吸収量等(クレジット)を購入することなどで、その排出量の全部又は一部を埋め合わせるこ

福岡県久山町	
創出期間(予定)	8年間 (2021~28年度)
創出見込量(合計)	約1,500t-CO ₂
うち発行済量	200t-CO ₂
熊本県内6者(自治体4者/民間2者) 〔熊本県委託事業にて実施〕	
創出期間(予定)	8年間 (2022/23年度~)
創出見込量(合計)	約7.5万t-CO ₂



大分県玖珠町	
プロジェクト登録準備中 (2023年度~創出予定)	

九州電力社有林(大分県由布市他)	
創出期間(予定)	16年間 (2021~36年度)
創出見込量(合計)	約24万t-CO ₂
うち発行済量	約1万t-CO ₂

(注) 創出見込量(合計)は現時点での想定であり、クレジット発行時に詳細を算定。

地域の皆さまと取り組む環境活動

環境保全活動

「こらぼらQでんeco」

九州各地で、地域の皆さまとともに環境保全活動を行っています。



河川の清掃活動(福岡県北九州市)

環境・エネルギー教育

「Qでん★みらいスクール」

子どもたちを中心に、出前授業や環境教育等の様々な「学び」や「体験」の場を提供し、自然を大切にすることを育みます。

九州各地で次世代層向けの講座やイベントを行っているほか、エネルギーや環境について学習できるポータルサイト「エネルギー環境デジタルライブラリー」を九州電力ホームページ上に開設しています。



高校生を対象とした出前授業の様子(熊本県熊本市)



エネルギー環境
デジタルライ
ブラリーはコチラ

九電みらい財団による環境活動

九電みらい財団は、豊かな自然を守り続けること、子どもたちが輝くみらいに繋げていくことを目的として活動しています。

ラムサール条約に登録された坊ガツル湿原(大分県)一帯で、生態系や景観を守る「野焼き」等の環境保全活動を行っています。

次世代層を対象とした環境教育を「くじゅう九電の森」(大分県)において取り組んでいるほか、環境教育や市民交流の拠点づくりを目的に地域の皆さまとの協働で「九電みらいの森プロジェクト」を開始し、新たに「いさはや九電みらいの森」(長崎県)を整備し、植林等を通じた環境教育に取り組んでいます。



いさはや九電みらいの森での環境教育(長崎県諫早市)



▲Facebook



▲Instagram